

令和4年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(三保地区)

| | |
|-------|---|
| 開催日時 | 令和4年10月21日(金)午後6時30分から午後8時40分 |
| 場所 | 三保支所2階 |
| 町民参加者 | 23人(40代以下1人、50代6人、60代以上16人) |
| 町出席者 | 町長、副町長、教育長、参事兼企画総務課長、地域防災課長、農林課長、商工観光課長、定住対策課長、会計課長、事務局3人 |

出席者からの主な意見や提案

《テーマ：自治会未加入者対策について》

- 山間部を中心に人口が減少している中で、神社やお寺の年間管理費なども自治会が負担しており、自治会員の減少により負担が段々と増えている。また、町から依頼がある赤十字や歳末助け合い運動といった福祉の関係などを自治会が集金しているほか、最近あったクリーンキャンペーンなどには自治会未加入者は参加してくれないのが現状である。こういった状況の中で、自治会未加入者対策について何かいいアイデアがあればお聞かせいただきたい。
- 人口がどんどん増えてくれば問題は解消されると思うが、現状は人口が減少している状況である。例えば自治会に加入すればこういう特典があるとか、そういった計画をした方がいいのではないかと思うがどうか。
- 災害時に支援物資が必要になった場合に、自治会の世帯数で届けられると、自治会に加入していないマンションに住んでいる方などは自治会加入世帯の倍くらいいるため、足りなくなることが予想される。住民全員に食料等が届けられるようになっているのか。

《テーマ：デマンドタクシーの利用拡大について》

- デマンドタクシーの利用が現在は地域の方を対象にしているが、観光客が利用できるようにしている地域もある。宮ヶ瀬地区などは、AIを使った配車ルートの作成をしていると聞いている。また、三保地区のバスの本数が減ってきており、地域に観光する場所がたくさんあるにもかかわらず観光客の移動手段がないのが現状である。また、道路の渋滞緩和のためにもデマンドタクシーを観光客でも利用できるように検討していただきたい。
- 山北診療所の患者さんの送迎に関しては、家族にお願いしているというのが現状である。患者さんのほとんどは清水、三保地区の方なので、清水から中川方面の往復というかた

ちで運行していただけるとありがたいと考えている。

○デマンドタクシーを試行していただいたのは非常にありがたい。共和地区で福祉バスを運行しているが、利用料を徴収したり、登録制だったりといったことを聞いている。今年度の4か月の試行運行でどのくらいの経費がかかっているのか。また、三保地区が本当に抱えている問題は、自分が自動車を運転できなくなった時にどう生活していけばいいのかということである。共和地区などの例を参考に公共交通のあり方を考えていただき、今後町が主体となって地域の交通を確保していただきたいと考えている。町では、地域交通について地域がやるように考えているのか、そうでないのかをお聞かせいただきたい。

○デマンドタクシーの予約については、支所が開所している時間帯のみであったが、WEBで予約できるようにしたり、スマートフォンでアプリを使って空き状況の確認や予約まで完了できたりすると便利であると考えているがいかがか。

《テーマ その他》

○商標登録をとったユースン渓谷について、今後観光資源として活用していくという意思を表明されているが、具体的にどのような方向性を考えているか教えていただきたい。また、現在、ユースン渓谷までの道は通行止めとなっているが、安全に行けるまでの間の対応はどうなっているのか。

○ユースン渓谷は、現在通行止めになっているのにもかかわらず、過去のSNSの景色の投稿を見てこられる方もたくさんいるが、観光案内の看板が不親切で、観光情報など多くのことを直接聞かれ困っている。

○無料駐車場が夏場ゴミだらけになって大変なことになっている。結局ゴミを片付けている人は民間の人である。無料で止められる駐車場を整備したならゴミ箱を設置するなどゴミの処理なども責任をもってやっていただきたい。無料駐車場は、有料にしていきたい。この地域は水源になっていることを意識していない方が多く駐車していると感じている。

○個人でもユーチューブなどを活用し、玄倉林道の情報などを提供している。危険な箇所に行くのは自己責任だと思うが、危険を冒さなくてもぶなの湯の近くにも綺麗なブルーが見られるところもある。このような情報を町や観光協会のホームページで頻繁に更新することによって、周知していくのはどうか。

- 看板について森林館など閉館した施設の看板は、撤去していただきたい。また、箒杉は山北町でも代表的な観光資源にもかかわらず、県道から箒杉に入る箇所や県道沿いの案内がないので看板を立てていただきたい。
- スマートインターチェンジについて、清水地区では完成した後の地域のあり方や活用方法を話し合っていると聞いている。観光振興のために、例えば地域にある手打ちの蕎麦屋さんなどを名物として観光客にアピールできるよう周知していきたいと考えているので、協力をお願いしたい。
- 地域の人が運営していないキャンプ場は、この場も含めて地域の話し合いに参加しないため意見交換ができない。こういったキャンプ場は規模が大きく、集客も多いためそこでの体験が地域全体のイメージに繋がっており、場合によってはマイナスイメージに繋がることも考えられる。町でもこういったキャンプ場について、注視していただきたい。
- ヤマビルについて、日帰り温泉に登山に来られたお客様が、ヤマビルにかまれたまま入館したことが今年の8月以降2度あった。また、記念館の裏道を歩いただけでヤマビルにかまれてしまったお客様も9月以降にいられた。農業や事業をやっている方も多し中、ヤマビルが全域にわたって増えているので、対策を何とかしていきたいと考えているがいかがか。
- 昭和47年の災害復旧時に整備していただいた街路灯を旅館組合で管理しているが旅館の件数も少なくなっており、町からも維持管理について助成をいただいているが維持が厳しくなっている。今年度、街路灯を3本間引いたが、電気代の高騰により昨年度より電気代が2割高くなっている。今後旅館組合で維持するのは困難であると考えている。現在の街路灯であった箇所は、過去に防犯灯がついていた箇所がいくつかあったことから、防犯灯に戻していただきたい。